

患者の皆さまへ

当院では、保有する既存試料・情報を用いて下記の研究を実施しております。このような研究の実施に当たっては、研究対象者の方に研究の参加を拒否する権利が保障されております。(オプトアウト)
この研究に関するお問い合わせなどありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

研究機関名	市立豊中病院
倫理委員会承認日	2018年 1月12日
研究期間	2020年 3月31日 まで
研究の名称	新高速画像エンジン処理(FAiCE-V NS1)導入によるERCP時の放射線被ばく線量低減に関する検討 Novel processing engine for X-ray fluoroscopic images (FAiCE-V NS1) can reduce radiation exposure in the procedure of ERCP but keep the quality of images
研究対象	2012/10から2017/2の期間、当院にて内視鏡的逆行性膵管胆管造影検査をうけられた患者さん
対象材料	診療記録
対象期間	2012年10月～ 2017年 2月
研究の目的意義	内視鏡的逆行性膵管胆管造影検査では、レントゲン透視下に検査を行うが、その際の被ばく線量に関して、これまで、十分な検証がされていませんでした。過剰な被ばくは将来的に発癌への関与も危惧され、その実際を調査することは、重要な意味があると思われれます。合わせて、当院に導入された新高速画像エンジン処理装置により、どれだけ被ばく線量を減らすことができたのか調査も行います。
方法	上記対象の患者さんの、レントゲン透視下に内視鏡的逆行性膵管胆管造影検査を受けられた患者さんの被ばく線量を後ろ向きに調査を行う。
個人情報の取り扱い	本研究のデータは、研究目的の達成に必要な範囲を超えて取り扱わず、安全に管理する。研究結果から個人が特定されることはない。
問い合わせ先	市立豊中病院 消化器内科 西田 勉 TEL 06-6843-0101